

東海病院憲章

東海病院は公共的な保健・医療・福祉サービスを行う施設であり、地域の人々の健康と福祉に資することを目的とする。

私たちのKoKoRo(心)構え

3つのS
誠意…Sincerity
奉仕…Service
考動…Science

東海病院職員は病院憲章の目的を達成するため、誠意・奉仕・考動の3つのSを大切に、地域医療機関との緊密な連携に努め、限りない人間愛と責任をもって、地域の人々に保険・医療・福祉サービスを提供します。

目次

ご挨拶 1
新任医師挨拶 2
病診連携勉強会 3
診察と交通 4

国家公務員共済組合連合会
東海病院

〒464-8512
名古屋市千種区千代田橋1-1-1
TEL (052)711-6131
FAX (052)712-0052
<https://toukaihospp.kkr.or.jp/>



2024年度を迎えて

敷地内の木々は青々と茂り、まもなく蒸し暑い梅雨の時期が訪れます。4月発行予定の東海病院だよりが大変遅くなりましたことをお詫び申し上げます。

2024年は医療・介護・障害福祉の3つの報酬が同時に改定される6年に1度のトリプル改定の年です。昨年12月20日に厚労省により医療従事者の賃上げを目的として、診療報酬本体が0.88%引き上げられることが決定しました。2月17日に令和6年度診療報酬改定の基本方針、3月5日に細則が発表され、6月1日から施行されます。改訂に当たっては4つの基本認識と基本的視点・具体的方向性が掲げられていますが、中でも(1)「現下の雇用情勢も踏まえた人材確保・働き方改革等の推進」は重点課題とされています。東海病院では数年前からプロジェクトを立ち上げて、タスクシェア、タスクシフトに取り組んでいます。チーム医療の推進については昨年結成されたOLS（骨粗鬆症診療支援サービス）を始め、NST（栄養サポート）、認知症ケアサポート、緩和ケアなど医師・看護師・コメディカルなど多職種が参加して患者様の治療に携わっており、さらに活動の幅を広げたいと考えています。当院では2016年3月の電子カルテシステム導入により業務の効率化が進みましたが、会議資料や申請・承認など未だ紙ベースの運用も多く、労働時間短縮にも繋がるICTの活用にとさらに取り組む必要があります。(2)「ポスト2025を見据えた地域包括ケアシステムの深化・推進や医療DXを含めた医療機能の分化・強化、連携の推進」ではリハビリテーション、栄養管理及び口腔管理の連携や医療機能に応じた入院医療の評価、外来医療の機能分化、質の高い在宅医療・訪問看護の確保などが求められています。2025年には団塊の世代全員が後期高齢者となり、人口減少と高齢化に対応するためには医療と介護サービスのより良い連携が必要です。地域全体で医療機能の分化と強化に取り組むためには、病診連携登録医の皆さまとの協力体制がたいへん重要であると考えます。4月からは医師の時間外労働規制が開始されましたが、業務の効率化を図りつつ、今後も地域医療を支える一役を担っていく所存です。

本年度もご支援ご指導を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

1月にお知らせいたしました病棟改修ですが、3月25日に多床室および洗面室の工事が終了し、6月中には個室の改修が終了する予定です。ご入院の皆さまには騒音や部屋の移動などでご迷惑をお掛け致しましたが、清潔感が増した病室で療養いただけることを職員一同嬉しく思っております。引き続き患者様への心配りを怠らず施行させていただきますので、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

牧野 仁美